

令和4年度「みやぎ・復興の歩み12」制作業務に関する質問への回答

No.	質問	回答
1	冊子制作の目的をもう少し詳しく教えてください。	<p>本冊子は、震災が発生して1年後の平成24年3月に創刊し、以後、1年ごとに復興の進捗を広く県内外の方々に知っていただくため、継続して発行しています。</p> <p>「みやぎ・復興の歩み12」では、この一年間で被災地の復興にどんな進捗があったのか、また、この12年間の歩みはどうだったのかということに加え、復興の過程で生まれた新たな価値についての情報を発信することで、風化の防止や、本県の復興への関心を高めていただくことを目的としています。</p>
2	この冊子を読んでほしい人（ターゲット）は誰ですか。	<p>主に、東日本大震災や本県の復興状況について関心のある方が読むことを想定しています。ただし、県庁舎（県政広報展示室など）や県内の市町村庁舎等にも配架することから、広く一般の方が手に取ることも想定されます。</p>
3	写真で比較する定点観測について、被災直後の写真は県から支給され、12年後の写真は県から支給もしくは受注者で撮影する、という認識でよろしいですか。その場合、何点の撮影を想定しておけばよろしいですか。	<p>「みやぎ・復興の歩み12」に掲載する定点観測の地点は、「みやぎ・復興の歩み11」に掲載されている地点とは別の場所を受注者から提案いただく形となります。（ただし、発注者の判断で、同じ地点を採用する可能性はあります。）したがって、被災直後の写真も、12年後の写真も、発注者から支給するものではなく、どちらも受注者が手配／撮影することとなります。</p> <p>被災直後の写真は、「東日本大震災アーカイブ宮城」（下記リンク）に掲載されているものから選んでいただくことも可能ですが、候補写真の選定作業も受注者の業務内容に含まれます。12年後の写真の撮影に当たっては、撮影場所の特定も受託者が行います。</p> <p>撮影の点数については、今年度の定点観測は「みやぎ・復興の歩み11」と同様に、12箇所程度を掲載予定であることから、そのために必要な点数を想定ください。ただし、提出された</p>

	<p>写真が、発注者の求める質に達しない場合、撮り直しとなる可能性もあります。</p> <p><東日本大震災アーカイブ宮城></p> <p>https://kioku.library.pref.miyagi.jp/</p>
--	---